

国会と民主主義者

……国会は（の?!か青山）、ひとにぎりの地主、役人およびあらゆる寄生者による人民の財産のあの組織的な略奪、あの組織的で無遠慮な強奪——これがロシアの「国家経済」と呼ばれているものなのだが——のすべての手口に、人民の目をひらかせなければならぬ。これを国会の壇上から暴露することは、ロシア自由主義のバラライキンたちがあれほどさかんに口にしている「人民の自由」のためのたたかいで、人民を援助することを意味する。国会の今後の運命がどうであろうとも、政府の当面の方策と「見通し」がどうであろうとも、いずれにせよ、人民大衆の意識性と組織性だけが、**結局において**、自由のためのたたかいの結末を決定するのである。このことを理解しないものは民主主義者の名を受けるに値いしない。

第 12 卷 P305『国会と予算の承認』

『ナーシェ・エーホ』第二号、1907年3月27日

ポイント

国会の壇上から暴露することによって人民の目をひらかせることによって、「人民の自由」のためのたたかいを援助するが、人民大衆の意識性と組織性だけが、結局において、自由のためのたたかいの結末を決定する。このことを理解しないものは民主主義者の名を受けるに値いしない。